

堀光美術館

美術に関する市民の知識及び教養の向上を図るため、10企画の展示事業とそれに関連する講演会、ワークショップやコンテストを開催した。

また、特別企画展「伊丹三樹彦展」、「上田桑鳩展」、「第4回INGひょうご展2024」は、市制施行70周年記念事業として開催した。

1 展示事業

(1) 特別企画展

- ア 「写俳と書俳 伊丹三樹彦展 - 一句一人生 -」
会 期 令和6年5月25日(土)～6月23日(日)
内 容 伊丹市生まれ、幼少期を三木市で過ごし、写真と俳句を組み合わせ「写俳」という俳句ジャンルを創造した才能豊かな俳人。写俳、書、日記など55点展示。
中央図書館との共催により、書籍100点も展示。入館者 839人。
- イ 「上田桑鳩展 - 上田家・飛雲会・上垣家寄贈作品 -」
会 期 令和6年8月30日(金)～9月29日(日)
内 容 三木市所蔵作品、上田家、飛雲会、上垣家寄贈作品を一挙公開。
堀光美術館、みき歴史資料館、中央図書館と連動し、作品、関連図書、愛蔵品など、日本最大の桑鳩コレクション集大成の展示。71点を展示。入館者 748人。
入館料 500円。
- ウ 「第4回 ING ひょうご展 2024」
会 期 令和6年10月10日(木)～11月5日(火)
内 容 「アートで兵庫・三木を盛り上げよう！」を趣旨に、県内で活動する作家が団体やジャンルの垣根を越えて集い、個性豊かな日本画・洋画・ガラス工芸の作品 33点を展示。入館者 1,312人。
森の風美術館との合同開催。スタンプラリー実施。

(2) 企画展

- ア 「三木市美術協会 洋画部会展」
会 期 令和6年4月28日(日)～5月12日(日)
内 容 三木市美術協会洋画部に所属し、県内外で活躍する18人が、油彩、水彩画、ペン画、グラフィックなど、多彩な作品を紹介。展示39点。入館者 772人。
- イ 「木版画展」
会 期 令和6年6月29日(土)～7月21日(日)
内 容 数々のコンクールで入賞するなどの実績を持ち、三木金物を使用して創作する 20人の木版画作品を 93点展示。入館者 981人。
- ウ 「第49回 グループしづがき展」
会 期 令和6年12月6日(金)～12月22日(日)
内 容 1970年に結成して、三木市を拠点に芸術・文化を発信し続けている地元作家グループが、絵画、書、工芸、写真の各分野で多彩な作品を1階で 58点展示。
特集として、山を愛し、豊かな自然を求める松山順三の巡った写生地の作品を2階で 26点展示。入館者 849人。
- エ 「二人展 井関春龍／市田山(片寄)知 - 書とアートの融合 -」
会 期 令和7年1月11日(土)～2月2日(日)
内 容 美術協会書道部会員の井関春龍と市田山(片寄)知による二人展。力強さと躍動感のある書、そして繊細で流麗な線で描く水墨画作品を合わせて 62点展示。入館者 1,037人。
- オ 「残された書の響き 三木市ゆかりの書家 上田桑鳩の弟子三人展」
～上羅芝山・神澤知丘・高郷石峯～

- 会 期 令和7年2月8日(土)～2月24日(月)
- 内 容 上田桑鳩の弟子として活躍した三木市出身書家三人の作品を76点展示。入館者971人。
- カ 「丹波×三木美術協会合同展」
- 会 期 令和7年3月1日(土)～3月30日(日)
- 内 容 丹波市美術作家協会22人と三木市美術協会44人の作品を展示。
前期71点、後期74点展示。入館者1,886人。

(3) 公募展

- ア 「第4回アート・ティーン公募展」
- 会 期 令和6年8月3日(土)～8月18日(日)
- 内 容 4回目となる少年少女の公募展。自分自身と向き合い、時間をかけて熱い思いで制作した作品たちが並ぶ。今年度も絵画と木彫の2つの部門で審査を行い、入賞・入選作品した作品を展示。入館者702人。
審 査 員 池内悦子氏、福本孝昭氏
応募点数 132点 展示77点(入賞17点、入選60点)
表 彰 式 8月18日(日)

(4) 協賛展示

- ア 「みつきい子午線フェスタ2024 コラボ企画展 -時・それぞれの想い-」
- 会 期 令和6年5月25日(土)～6月23日(日)
- 内 容 美術館ゆかりの作家8人の「時」から連想した作品を14点展示。入館者839人。
- イ 「お雛さま展スタンプラリー」
- 会 期 令和7年2月24日(月)～3月9日(日)
- 内 容 ひな祭りの期間に合わせて、上の丸周辺施設(中央公民館、旧玉置家住宅、旧小河家別邸、金物資料館、みき歴史資料館、堀光美術館)をめぐるスタンプラリーを実施。美術館ゆかりの作家2人の「ミニミニお雛」を展示。入館者1,035人。

2 関連事業

(1) 特別講演会

- ア 「上田桑鳩の魅力」
- 日 時 令和6年9月7日(土) 午後1時～午後2時30分
- 講 師 中原志軒氏(書道団体奎星会会長)
- 場 所 みき歴史資料館 3階講座室、市民活動支援室
- 内 容 上田桑鳩の書道家としての歩みを、その時代の作品とともにたどり、師匠として多くの弟子を大切にしていたエピソードなどを交え、人としての魅力を語った。また、書と画の融合が特徴的な桑鳩の作品についての解説もされた。参加者110人。

(2) コンテスト、ギャラリートーク

- ア 「伊丹三樹彦展開催記念俳句コンテスト」
- 日 時 令和6年5月28日(火) 午後2時30分～午後4時
- 講 師 伊丹啓子氏
- 内 容 伊丹啓子氏によるギャラリートークとコンテスト公開最終審査 参加者25人。
伊丹三樹彦展の会期中会場に210点の句を展示。(入賞14点、入選196点)
- イ 「桑鳩作品が紡いでいく絆」
- 日 時 令和6年9月7日(日) 午後3時～午後4時
- 講 師 中原志軒氏(書道団体奎星会会長)、牛丸好一氏(飛雲会会長)、森川桂石氏(三木市美術協会書道部会員)
- 内 容 上田桑鳩の人柄や創作のエピソード、三木市所蔵の作品の活用について、講師が話

した。参加者 92 人。

ウ 「紡がれる書道芸術」

日 時 令和 7 年 2 月 9 日（日） 午後 1 時～2 時 30 分

講 師 飛雲会会長 牛丸好一氏、三木市美術協会 顧問 公森仁氏

内 容 上田桑鳩の三人の弟子（上羅芝山、神澤知丘、高郷石峯）の弟子たちが師匠から受け継いだ奥深いエピソードを語った。参加者 119 人。

エ 「週末アーティストトーク」

日 時 令和 7 年 3 月 1 日（土）、2 日（日）、8 日（土）、9 日（日）、22 日（土）、23 日（日）、29 日（土）、30 日（日） 午後 2 時～

講 師 丹波作家協会、三木市美術協会

内 容 作家本人が作品について説明し、参加者からの質問に答える、芸術を身近に感じることのできる機会になった。参加者 延べ 220 人。

(3) ワークショップ

ア 「木版画摺り体験」

日 時 令和 6 年 6 月 29 日（土）、30 日（日）、7 月 5 日（金）、6 日（土）、7 日（日）、12 日（金）、13 日（土）、14 日（日）、19 日（金）、20 日（土）、21 日（日）
午前 10 時～午後 4 時

講 師 森口朝光氏

内 容 作家の森口氏が用意した 12 種類の版木を使って、ハガキサイズの作品を摺る木版画体験。出来上がった作品は参加者にプレゼントされた。無料。参加者 延べ 200 人。

7 月 5 日（金）豊地小学校 23 名がワークショップに参加した。

イ 「陶芸教室 埴輪を作ろう！！」

日 時 令和 6 年 8 月 3 日（土）、4 日（日）、10 日（土）、11 日（日）
午後 2 時～午後 4 時

場 所 みき歴史資料館 3 階 市民活動支援室

講 師 藤原義明氏（三木市美術協会 彫塑工芸部会員）

内 容 藤原氏の指導のもと、手のひらサイズの埴輪を 2～5 個作り、作品は 9 月に焼きあがり、参加者へ送付又は引取り。参加料、材料費込み 1,500 円。参加者 33 人。

ウ 「木の葉のブローチ作り」

日 時 令和 6 年 10 月 22 日（火） 午前 10 時 30 分～午前 11 時 30 分

講 師 花房完昇氏（ING 会員 洋画家）

内 容 花房氏の指導で木の葉を使ってブローチづくりを楽しんだ。教育センターの児童等 11 名が参加した。

エ 「プラバンでつくろう！キーホルダー」

日 時 令和 6 年 10 月 26 日（土） 午前 10 時～午後 4 時

講 師 椿野浩二氏（ING 会員 洋画家）

内 容 椿野氏の指導で、参加者の好きな絵を描いたプラバンでキーホルダー作りを楽しんだ。参加者 12 人。

オ 「絵手紙教室」

日 時 令和 7 年 1 月 18 日（土） 午後 1 時～午後 3 時

講 師 片寄知氏（水墨画家）

内 容 講師が用意した様々な画材を使用して、心のこもった手づくりのはがきサイズのカード作りを楽しんだ。材料費 300 円。参加者 27 人。

カ 「筆文字作品制作」

日 時 令和 7 年 1 月 25 日（土） 午後 1 時～午後 3 時

講 師 井関春龍氏（書家/書道パフォーマー）

内 容 講師が用意した墨と筆を使用して、好きな字や名前を額付きのポストカードに書いた。材料費 300 円。参加者 11 人。

(4) 制作アドバイス

ア 市内中学校における制作アドバイス

日 時 令和6年10月18日（金）午後3時30分～午後5時
講 師 花房完昇氏（ING 会員 洋画家）
内 容 花房氏が三木東中学校美術部へ赴き、自身の作品解説、部員たちの作品を講評、制作アドバイスをを行った。

イ 市民等への制作アドバイス

日 時 令和6年10月26日（土）午後2時～午後3時40分
講 師 井澤幸三氏（ING 会員 洋画家） 久米伴香氏（ING 会員 日本画家）
内 容 井澤氏と久米氏が、参加者の持ち込んだ作品にアドバイスをを行った。参加者 7人。

(5) パフォーマンス

ア 「井関春龍 書道パフォーマンス」

日 時 令和7年1月19日（日）午後2時～
講 師 井関春龍氏（書家/書道パフォーマー）
内 容 堀光美術館駐車場前にて、観客105人の見守る中、2メートル×2メートルの巨大パネルに大筆で「感謝」と書いた。作品は「二人展 井関春龍／市田山（片寄）知一 書とアートの融合-」の会期中、館内に展示した。観覧者数105人。

(6) 芸術講座

ア 「身近に「書」を楽しむ」

日 時 令和6年11月2日（土）、9日（土）、16日（土）、23日（土）
午前10時～正午
講 師 森川桂石氏（三木市美術協会書道部会員）
内 容 お祝いやお見舞いなど、日常生活に取り込む楽しい書を、4回にわたって指導。参加料全4回2000円、参加者7人。

イ 「モノクロの世界を学ぶ 鉛筆画」

日 時 令和6年11月10日（日）、17日（日）、24日（日）、12月1日（日）
午後1時～午後3時30分
講 師 野口雅史氏（鉛筆画家）
内 容 動物やガラスなど参加者の描きたい写真をもとに鉛筆画を制作した。参加料1回1000円、参加者延べ71人。

3 施設管理

施設の維持管理のため、下記の修繕を行った。

実施日	内容
令和6年11月19日	展示台修繕作業
令和6年11月29日	堀光美術館機械室ドレン配管断熱補修
令和7年1月9日	展示室壁紙補修

4 月別入館者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
来館者数（人）	620	929	765	984	834	699	1,017
開館日数（日）	25	27	27	26	27	25	27
月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
来館者数（人）	568	933	945	1,263	1,886	11,443	

開館日数（日）	27	23	23	23	25	305
---------	----	----	----	----	----	-----

5 美術館協議会

美術館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べるため、美術館協議会を設置している。令和6年度の開催状況は下記のとおり。

開催日	内容	実施場所
6月25日	令和6年度第1回美術館協議会 1 報告事項 (1) 令和5年度 入館者状況 (2) 令和6年度 美術館事業の現況 2 協議事項 (1) 令和6年度 後期展示事業活動計画（案） (2) 令和7年度 展示事業計画（案） (3) その他	みき歴史資料館 3階講座室
12月18日	令和6年度 第2回美術館協議会 1 報告事項 (1) 令和6年度 前期事業実施状況 ① 入館者数 ② 企画展別入館者数 (2) 令和6年度 後期展示事業活動計画 2 協議事項 (1) 令和7年度 展示事業計画（案） (2) 令和7年度 展示事業活動計画（案） (3) その他	みき歴史資料館 3階講座室